未来を
創造する
高校生

星槎道都大学美術学部建築学科

第７回高校生

インテリアデザイン

コンクール

作品集2025

総評

第7回は「朝のしたくが楽しくなる洗面まわりをデザインしよう」にいたしました。毎朝誰もが必ず立ち寄る洗面まわりという、日常の中で見過ごされがちな空間に改めて目を向け，光・色・素材・音・香りなど五感に働きかける要素を取り入れながら、朝のはじまりをどのように心地よい空間として提案できるか，高校生のみなさんの感性から生み出されるアイデアを楽しみにしておりました。

最優秀作品はカラフルなタイルと暖かな照明で朝を彩る「色彩と快適の形」、優秀作品は木・石・流水・生き物を取り込み五感で自然を感じる「Feel Nature」でした。日々の生活をよく観察したうえで、オリジナリティあふれる発想を「かたち」にし、第三者に伝えるための表現が的確にできた作品として高く評価されました。また、水の循環という環境への視点や，小さなストレスの解消や朝を豊かにする提案など，高校生の観察眼の鋭さにも感銘を受けました。

今回は82作品という過去最多の応募をいただきました。どの作品からもテーマに真摯に向き合い、それぞれの視点から洗面まわりの可能性を考え抜いた跡が感じられました。作品制作のために、高校生活の大切な時間とエネルギーを注いでくださいました高校生の皆さまのご努力と熱意に敬意を表します。

最後になりましたが、ご指導いただきました先生にはこの場をお借りし感謝申し上げます。

河本　彩里

「色彩と快適の形」

静岡県立浜松工業高等学校　高校1年

講評

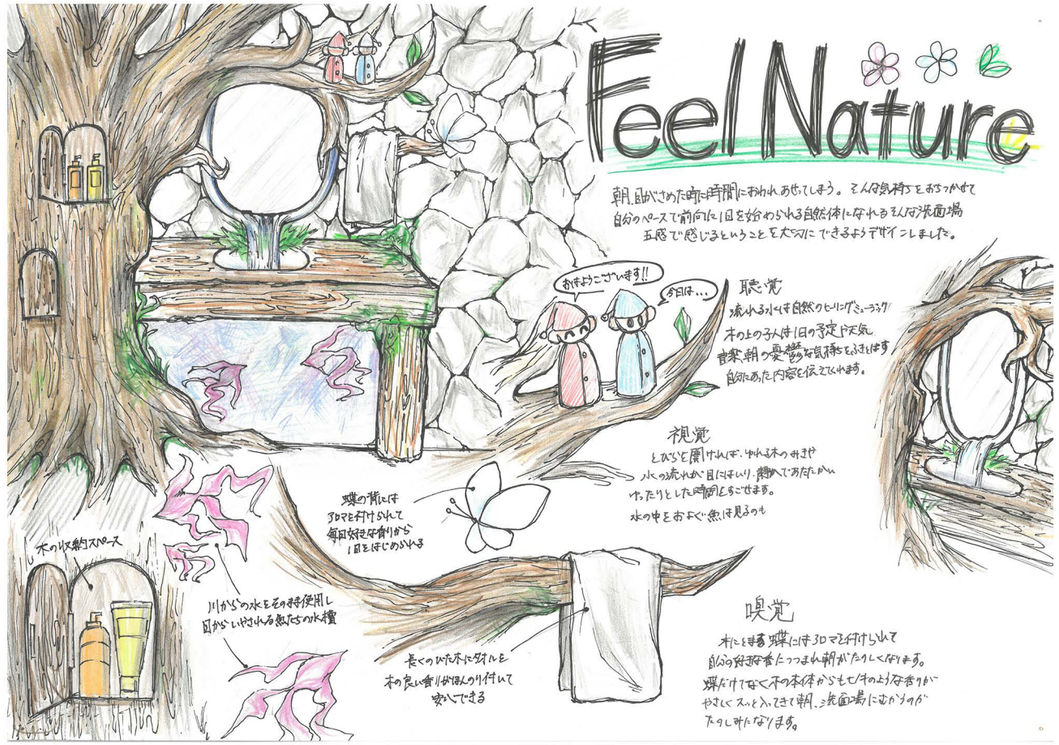
色彩の力で朝の洗面空間を生き生きとした場所へ変える提案です。二台のシンクや椅子・収納など実用面での細やかな工夫も充実しており、生活観察から生まれた具体的なアイデアと豊かな色彩表現が高く評価されました。

優　秀　賞

河野　莉月羽

「Feel Nature」

知徳高等学校　3年



講　評

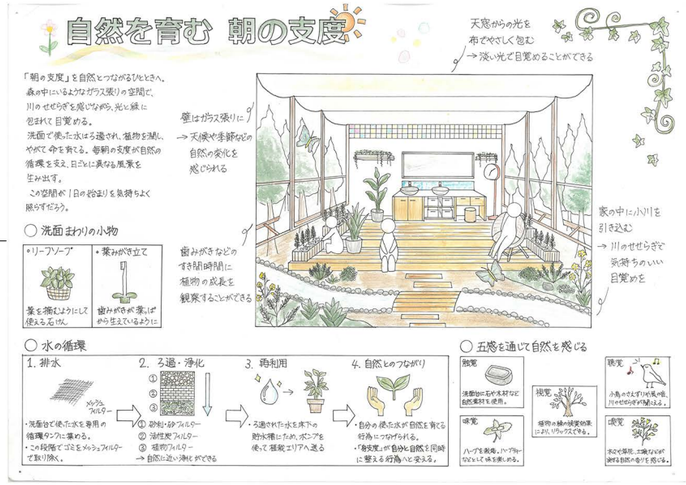
木・石・水・生き物を取り込み五感すべてで自然を感じる洗面空間。流れる水音、大地と樹木、そして水の生き物といった自然の循環を感じさせる要素が見事に洗面台という小さな空間に落とし込まれており、コンセプトとデザイン力が高く評価されました。

佳　　作

小林　美心

「自然を育む　朝の支度」

静岡県立浜松工業高等学校　3年



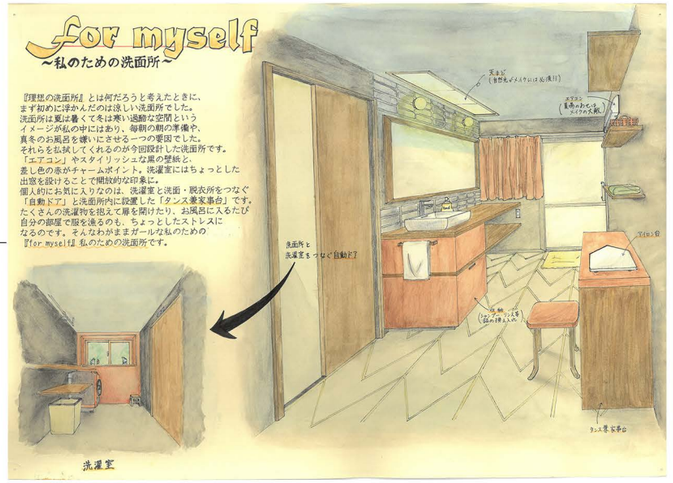
講　評

洗面で使った水をろ過・浄化して植物へ循環させるエコな仕組みが秀逸です。また、その仕組みを図解した構成力も評価されました。ガラス張りの空間に自然光と緑を取り込み、身支度が自然の循環を支える行為へと変わるという発想と空間の豊かさが高く評価されました。

常松　海月

「for myself　～私のための洗面所～」

福島県立郡山北工業高等学校 3年



講　評

近年の気候変動による暑さ・寒さは、感覚が特に敏感な朝の支度をより不快にするものです。その課題に着目し、設備や内装を整えた具体的な提案です。不満を出発点に空間を組み立てた論理性と、タンス兼事務台など独自の工夫が高く評価されました。

佳　作

河田　陽人

「空虚な絵空事」

新潟県立長岡工業高等学校 3年

講　評

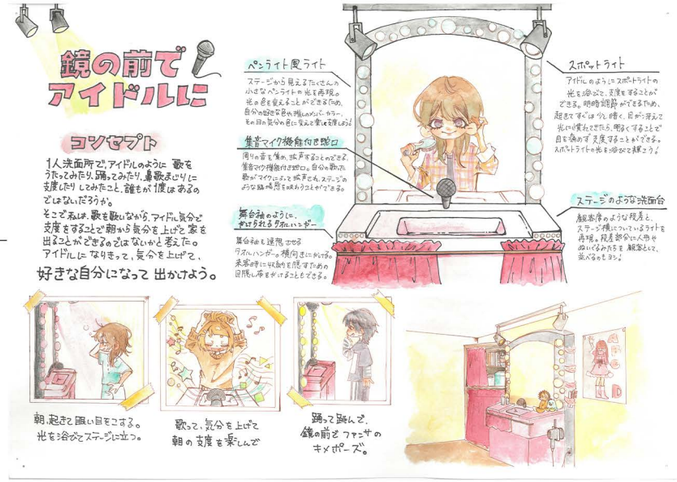
廃墟化した文明と空を泳ぐクジラという幻想的な世界観で、解放感あふれる朝の洗面空間を描いた異色の作品です。夢から覚めたばかり、いや、まだ夢の続きでは？そんな朝にこそふさわしい豊かなイマジネーションが広がります。屋上に解き放たれた無限の空を鉛筆で緻密に描き上げ、作者の世界観が力強く伝わる印象的な作品です。

学生審査員賞

三浦　藍子

「鏡の前でアイドルに」

静岡県立浜松工業高等学校　1年



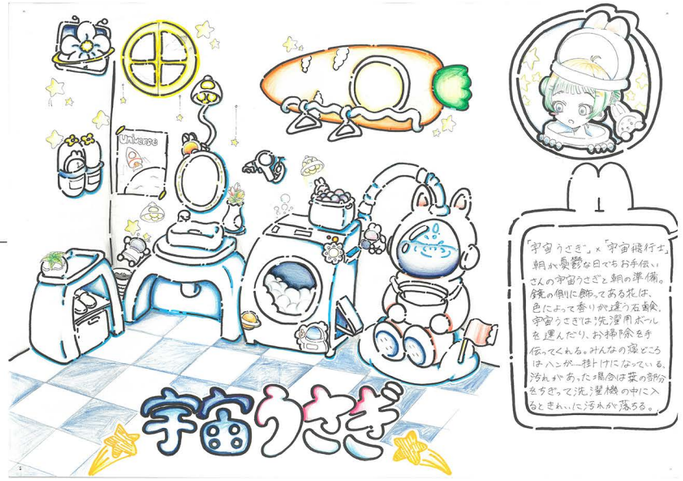
講　評

朝の支度は眠気や面倒くささを感じることが多い時間ですが、本作品はその時間を「アイドルになりきる」という発想によって前向きかつ楽しい体験へと転換している点が魅力的でした。洗面台という空間に明確なストーリーと演出を与えることで、「朝の支度が楽しくなる洗面台」という課題にストレートに応えられています。使う人の気分を高め、前向きな一日のスタートを後押しする提案で見ているこちら側も楽しくなるデザインでした。

髙橋　怜奈

「宇宙うさぎ」

新潟県立長岡工業高等学校　3年



講　評

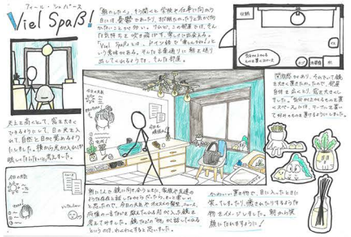
この作品は、宇宙空間をポップで可愛らしく表現しており、見ていて楽しい雰囲気が伝わってきます。家具には丸みがあり、使いやすさも感じられます。また、色を全面に塗らず余白を残すことで家具の特徴が際立ち、空間全体が見やすくなっています。さらに、うさぎの可愛らしさが細部まで表現されており、テーマの魅力が十分に伝わる作品だと感じました。

団　体　賞

団体賞
静岡県立浜松工業高等学校
様

団体賞
新潟県立長岡工業高等学校
様

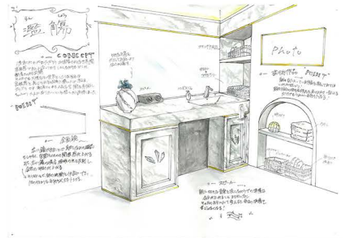
奨　励　賞



鈴木　うらら　「Viel Spaβ!（フィール・シュパース！）」
市立札幌平岸高等学校　3年

熊谷　奈々　「育てる洗面所」
静岡県立浜松工業高等学校　1年

植田　真綺　「森の目覚まし」
静岡県立浜松工業高等学校　3年



舘野　ひかり　「濫觴（らんしょう）」
知徳高等学校　2年

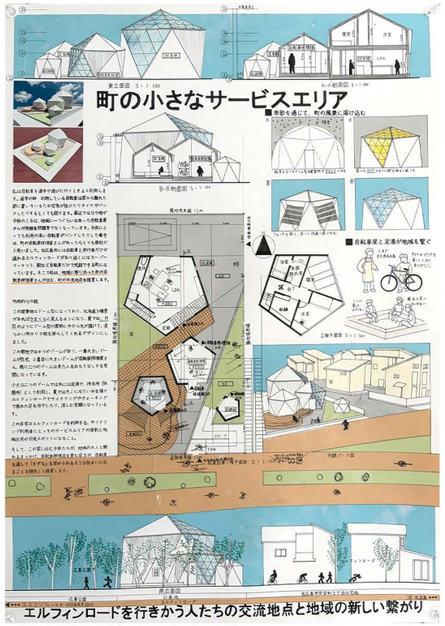
富田　葵衣　「空を感じて」
静岡県立浜松工業高等学校　1年

殖栗　千晴　「温室風洗面所」
新潟県立長岡工業高等学校　3年

ご　案　内

第22回(2025年度)星槎道都大学美術学部
住宅設計コンクールの案内ポスター

星槎道都大学美術学部建築学科ではインテリアデザインコンクールの姉妹コンクールとして「住宅設計コンクール」を毎年開催しています。当コンクールは全国の工業高等学校様からのご支持を得て、2025年度で第22回を数えるに至りました。毎回出題される住宅に纏わるユニークな課題も度々話題となっております。「住宅設計」と銘打っているために、中々普通科の生徒さんには敷居が高そうに見えて敬遠されがちですが、ぜひ普通高校生の工業高校生には無い「視点と発想」でのご応募をお待ちしております。



第22回(2025年度)　最優秀賞
太田　隆土　「町の小さなサービスエリア」
三重県立四日市工業高等学校３年（受賞時）

第７回高校生インテリアデザインコンクールのあとがき

今回第7回のテーマは「朝のしたくが楽しくなる洗面まわりをデザインしよう」という，日常の中のごく身近な空間を題材といたしました。毎朝必ず立ち寄る洗面まわりという場所だからこそ，高校生のみなさんそれぞれの生活経験や感性が作品に色濃く反映され，個性豊かな提案が揃いました。色彩・自然・循環・機能性・幻想と，切り口は実に多様であり，「朝のしたく」という一つのテーマからこれほど豊かな発想が生まれることに，審査員一同大いに刺激を受けました。また，今回は82作品という最多の応募をいただき，高校生のみなさんのインテリアデザインへの関心と意欲の高まりを感じることができました。次回も，高校生のみなさまの鋭い観察眼と自由な発想を思いきり表現していただけるようなテーマを設定したコンクールを開催する予定です。是非ともご参加いただければと思います。

最後になりましたが，今回作品をお送りくださいました高校生の皆さん，また多くの生徒さんの作品を出品していただきました静岡県立浜松工業高等学校，新潟県立長岡工業高等学校のご指導いただきました先生には，この場をお借りし，あらためまして感謝申し上げます。

学生審査員紹介

星槎道都大学美術学部建築学科

２年　池野　芽久

１年　五十嵐　いおり

第7回高校生インテリアデザインコンクール作品集

令和8年3月20日　印　刷
令和8年3月31日　発　行

編　集　星槎道都大学美術学部建築学科高校生インテリア
兼発行　デザインコンクール作品集編集委員会
〒061-1196北海道北広島市中の沢149番地
電話（011）372-3111
https://www.dohto.net/id-comp23/
e-mail:jandoh@seisa.dohto.ac.jp

星槎道都大学
美術学部建築学科

発行：2026年3月
〒061-1196北海道北広島市中の沢149番地
TEL:011-372-3111
https://www.seisadohto.ac.jp/